



●モデル化

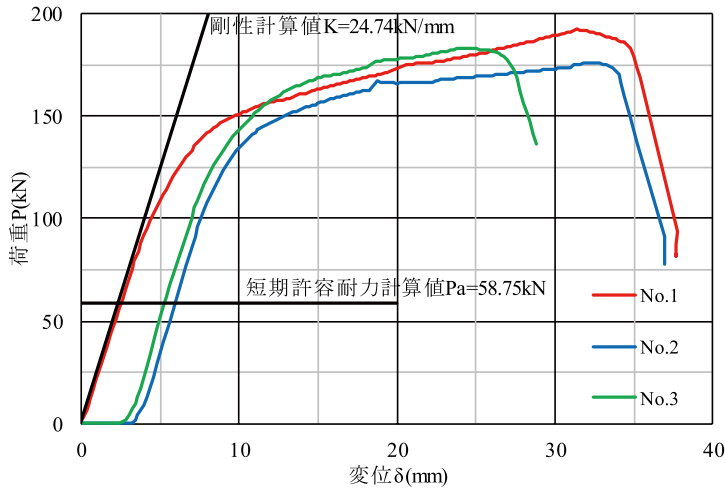
木質構造の接合部の耐力を実験により求める場合は、信頼水準 75% における 95% 下限許容限界値を用いるが、本データでは試験を 3 体しか行っていないため値が非常に小さくなっている。モデル化するには仕様に合わせて理論式により剛性及び耐力を設定することも可能である。

●特性値 (実験値)

	K (kN/mm)	Py (kN)	Pmax (kN)	Pu (kN)	$\delta_y$ (mm)	$\delta_v$ (mm)	$\delta_{pmax}$ (mm)	$\delta_u$ (mm)
No.1	20.1	126.7	192.3	174.1	6.3	8.7	31.4	35.4
No.2	13.6	117.3	175.9	156.7	8.6	11.5	32.4	34.8
No.3	14.8	113.9	183.0	162.9	7.7	11.0	24.6	28.4
平均値	16.2	119.3	183.7	164.5	7.5	10.4	29.5	32.9
50% 下限	—	116.7	180.5	161.1	—	—	—	—
5% 下限	—	102.2	162.5	141.8	—	—	—	—

K: 剛性 Py: 降伏耐力 Pmax: 最大耐力 Pu: 終局耐力  $\delta_y$ : 降伏変位  $\delta_v$ : 降伏点変位  
 $\delta_{pmax}$ : 最大耐力時の変位  $\delta_u$ : 終局変位  
 50% 下限: 信頼水準 75% における 50% 下限許容限界値  
 5% 下限: 信頼水準 75% における 95% 下限許容限界値

●荷重変形



●破壊性状

ボルトの曲げ降伏後にボルトの破断により耐力が低下した。



ボルトの曲げ降伏後



ボルトの破断

要材  
素料

接合  
器具

接合  
部

部組  
材立

屋  
根

柱

梁

ト  
ブ  
ス  
レ

壁

床

集  
成  
材

≡

製  
材

合  
板

そ  
の  
他